

発 言 通 告 書

令和 7 年 6 月 17 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 小 崎 愛 子

次のとおり通告します。

発言順位	2 7	受領日時	6 月 17 日	午前・午後	10 時 10 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式			・ 一括方式	発言時間	約 30 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者					

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	本市の農業政策について	(1)本市の農業従事者数及び従事者の平均年齢並びに新規就農者の人数とその定着率について (2)新規就農者や集落営農に対する市独自の支援策について (3)市内の耕作をやめた農地を減らす取組及び増やさない取組について (4)有害鳥獣による被害状況と捕獲後の適正な処理状況及び農家への支援について (5)学校給食において地場産物をどのくらい活用しているか。
2	福祉及び介護について	(1)加齢性難聴者への補聴器購入費助成について ①2025 年 4 月から現時点までの月ごとの利用者数について ②制度の利用状況を踏まえ、対象の拡大を検討する展望はあるか。 (2)訪問介護事業所について ①2024 年度からの訪問介護事業所の廃止や休止に至った原因を問う。 ②国が介護報酬を改定するまでの臨時支援策として、報酬を引き下げた差額を支援することはできないか。
3	教育行政について	(1)不登校支援について ①フリースクールの費用の軽減をすべきと考えるが本市の所見を問う。 ②不登校に関する情報を、本市で親の会やフリースクールと協力して発信することについて ③現在、市立小・中学校の学級数と児童・生徒数が 30 人を超える学級数をそれぞれ問う。 また、全ての学級で 30 人以下にするためには、教職員が何人必要になるのか。

